

V4-d システム エンジン

V4-d



特徴

- VUE al-4ラインアレイシステムを始め、VUE スピーカーシステムの多くに対応するDSP内蔵2Uアンプ
- 96kHzのサンプリングレート、64ビット・ミックスドモード処理、プレミアム・コンバータにより、120dBのダイナミックレンジを実現
- 1ms以下の低レイテンシー (640 μ s)
- SystemVUEソフトウェアで制御可能
- あらゆるプロフェッショナルシステムに対応できる最大入力レベル +23dBu
- 世界のどこでも使用可能なユニバーサル電源仕様 (85-268 v)
- 入力レベルと遅延 (最大2000ms) の制御
- 高性能DSPによる入出力、電圧、温度などアンプ機能の監視と保護
- 障害が生じた際、自動でアナログに切り替わるスマート入力検出回路を内蔵
- Danteに対応

次世代DSP回路

V4-d心臓部には、プロオーディオ向けDSPソリューションの世界的サプライヤーであるALLDSP社のフルカスタマイズされた集積回路が搭載されています。この高性能なプロセッサは、他のシステムエンジン、V3-i V6-d、更にh-Classパワードスピーカーを含む多くのVUE製品ラインでも採用されています。このことは、製品や製品クラスに関係なくVUE DSPとネットワーク機能が共通であることを意味しています。異なるVUE製品とも簡単にネットワークを構成ができ、SystemVUEソフトウェアを介したコントロールが可能です。実際、VUEのDSPは常に進化しており、VUEのエンジニアはV4-dシステムエンジンをVUEの製品ラインナップが増え続けるなか、それが使用出来るようにVUE Driveのプログラムを開発しています。最もシンプルなi-Classの構成から、最もハイレベルなal-Classのal-4、al-12SBドライブプログラムまで、V4-dシステムエンジンはVUEの多くの製品に対応して、「簡単なセットアップで、優れた音響パフォーマンス」を実現します。

V4-d システム エンジン

V4-d

ネットワーク対応のソフトウェア コントロール

V4-dシステムエンジンは、VUEスピーカーをネットワーク対応DSP内蔵パワーアンプを介した「ラウドスピーカーシステム」に昇華させます。

V4-dシステムエンジンの次世代DSPは、スピーカー保護システムに最適化されたEQ、時間軸、クロスオーバー機能のコントロール、システム構成の設定などすべてのシステム処理と管理機能を処理します。

V4-dシステムエンジンは、WindowsのSystemVUEソフトウェアとの互換性を持ち、システムのモニタリングも可能です。



整合性のある クラス D アンプリファイヤー

V4-dシステムエンジンは、コンパクトな2Uシャーシにディスクリートアンプを搭載した2in/4out構成です。

このパワーフルなラックマウント・ユニットは、低域用に1600wで2チャンネル、高域用に550wで2チャンネルを供給します。内蔵されているDSPにより、VUE製品の多くのシステムをドライブする事が出来、VUE Drive システムエンジンの中核となるパワーアンプです。

内蔵DSPは64ビット96kHzのサンプリングレートで120dBのダイナミックレンジを実現させています。

また、85v~268vの電圧に対応するユニバーサル電源仕様で設計されているため、世界のあらゆる場所で使用出来ます。

内蔵のプリセットプログラムにより、1台のV4-dシステムエンジンは出力チャンネルあたり4台、合計で8台の al-4を理想のレベルまで昇華させます。

さらに、内蔵のプリセットプログラムにはh-Classのモニタースピーカーや a-Class、i-Classをドライブ出来るプログラムも用意されており、V4-dはVUEスピーカーの実力を十分に発揮します。

最新版のプリセットでは、al-Classのフラグシップであるal-12SBのプログラムが加わり、V4-dは更なる活躍の場を獲得しました。

